

4 教育・生涯学習分野

心豊かに学び・ともにふれあい・生きる喜びを実感できるまち

施策 4-1

生きる力と思いやりを育む教育の充実

【めざすまちの姿】

知・徳・体のバランスの良い育成と、生き抜く力を育む教育、学校、家庭、地域が一体となった地域全体での教育環境づくりを進め、郷土に誇りを持ち、白河の未来をひらく人材が育成されています。

【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①学力実態調査の学力偏差値 (小学校：国算合計平均値)	平均偏差値	54 (平成23年度)	57	増加を目指す
②学力実態調査の学力偏差値 (中学校：国数英合計平均値)	平均偏差値	52 (平成23年度)	55	増加を目指す
③不登校児童生徒の割合	%	0.4 (平成23年度)	0.3	減少を目指す
④児童生徒の体力運動能力の値	県平均を超えた種目数	3/8 (平成23年度)	6/8	増加を目指す
⑤児童生徒の体力運動能力の値	県平均を超えた種目数	5/9 (平成23年度)	7/9	増加を目指す

【現状と課題】

- グローバル化の進展などにより社会が必要とする人物像が変化している中、「生き抜く力」や「人間の絆」の重要性が高まっています。
- 子どもたちの学ぶ意欲や、課題解決のための思考力、判断力、表現力、体力などのさらなる向上が課題となっています。また、子どもたちの社会性や規範意識の低下などが問題視されています。
- どのような時代にあっても、未来を担う子どもたちをしっかりと育み、それぞれが夢や目標を抱けるようにすることは社会の責務であり、ハード・ソフト両面から安全・安心で魅力ある教育環境を確保することが、そのために不可欠な前提条件です。
- 本市の豊かな自然、歴史や文化などを生かし、子どもたちの豊かな感性や郷土を愛する心の育成を図る必要があります。
- 障がいのある児童・生徒をはじめ、子ども一人ひとりの特性に応じた適切な指導・支援が行えるよう、教職員のさらなる資質向上、人材の確保と効果的な配置が求められています。
- いじめ問題や不登校については、スクールカウンセラーを中心に、教育相談体制の充実を図り、子どもの悩みや不安を受け止めた指導を行う必要があります。
- 放射線の現状への対応や老朽化した施設や設備の改修・耐震化は順次進められていますが、今後も計画的な取り組みが求められています。

【主要な取組み】

取組み		内容
①	確かな学力の向上	<p>学力向上推進会議や教育講演会のあり方などを工夫し、各校の課題に応じた細やかな支援を推進します。</p> <p>児童生徒一人ひとりに応じた指導を充実させるため、各学校の実態に応じた非常勤講師の配置と効果的な活用を図ります。</p>
②	豊かな心の育成	<p>学校・家庭・地域の一層の連携強化に努めるとともに、児童生徒一人ひとりへのきめ細かな指導により、いじめ、不登校等の問題行動の未然防止を推進します。</p> <p>全小中学校でのスクールカウンセラーによるカウンセリングの時間を確保し、児童生徒や保護者の不安や悩みの解決を図ります。</p>
③	健やかな体の育成	<p>学校体育や運動部活動などの充実により体力の向上を図ります。</p> <p>市内全学校に対する放射線対策により、安心して屋外で活動できる環境づくりをし、運動量を確保します。</p> <p>食育推進計画に基づき、栄養士等の人材を活用した食育を推進します。</p>
④	特別支援教育の充実	<p>障がいのある児童生徒が障がいの程度や心身の状態、発達段階に応じて、適切な学習環境が確保され、教育が受けられるよう、特別支援学級や通級指導教室、通常学級における特別支援教育を充実します。</p> <p>特別支援教育支援員の効果的な活用や障がいに応じた就学指導を、各学校との連携を密にして実施します。</p>
⑤	幼児教育の充実	<p>私立幼稚園への支援の充実を図るとともに、市立幼稚園における預かり事業を実施します。</p>
⑥	魅力ある教育環境の整備	<p>地域の人材を活用した授業づくりや、地域の自然や伝統文化を学校教育活動に取り入れることで、地域に開かれた学校づくりを推進します。</p> <p>児童生徒の読書への関心を高めるため、地域の人々と連携して、学校図書館の活用を図ります。</p> <p>幼稚園、小中学校施設については、耐震化や老朽化施設の改修などを計画的に推進します。</p>
⑦	大学等への就学機会の確保	<p>大学等への就学機会の確保のため、経済的な理由によって、就学が困難な生徒に対し、奨学資金の貸与等による支援を行います。</p>
⑧	郷土の歴史教育の充実	<p>地域への誇りと愛着を育むため、松平定信等の偉人に関する学習や歴史的な史跡や文化財への見学学習等を通して、郷土の歴史や文化への関心を高めます。</p>

【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み		主体	期待される波及効果
①	P T A活動や学校の諸活動などのボランティア活動に積極的に参加し、学校に対する関心と理解を深め、学校と連携し、地域全体で子どもの成長を見守ります。	家庭、学校、団体	主要な取組み：⑥ 成果指標：-
②	学習時間の確保、学習に集中できる環境づくり、生活習慣や社会ルールなど、家庭における教育に努めます。	家庭	主要な取組み：① 成果指標：①、②
③	いじめの未然防止、早期発見のために、家庭や地域が学校と連携を深めて学校校外の子どもに対して声をかけるなど積極的にかかわります。	家庭、団体、学校	主要な取組み：② 成果指標：③

【主な部門別計画】 (空白)

施策

4-2

青少年の健全な育成

【めざすまちの姿】

学校・家庭・地域と関係機関との連携を図りながら、青少年の心と体の健やかな発達を促し、正義感や倫理観にあふれた豊かな人間性を育むことで、青少年が人生の目標を見出し、たくましく成長しています。

【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①家庭教育に関する講演会等への参加者数	人	6,000	6,000	現状レベルを維持する
②放課後子ども教室の実施校数	校	4	4	現状レベルを維持する

【現状と課題】

- 次世代を担う青少年が心身ともに健やかに成長することは私たちの共通の願いです。家庭は、生活に必要な基本的習慣や思いやりの心、善悪の判断を養う上で重要な役割を担っており、家庭教育は極めて大切です。
- 青少年を取り巻く環境は、核家族化や少子高齢化等により、多様化・複雑化しており、いじめや不登校、引きこもり、少年犯罪の深刻化など、様々な問題が発生しています。
- こうした中で、青少年が未来への夢や希望を持ち、その実現に向けてたくましく成長していくためには、家庭や地域での教育力の向上や社会全体で青少年の健全育成に取り組んでいく必要があります。

【主要な取組み】

取組み		内容
①	家庭教育の充実	<p>保育園、幼稚園、小学校、中学校において実施する家庭教育学級に対する学習機会の拡大と情報提供に努めます。</p> <p>家庭教育に関する学習機会の充実を図るため、幼稚園、小中学校、高校のPTA連絡協議会等と連携し講演会等を実施します。</p>
②	家庭・地域・学校等との連携	<p>下校時の子どもの安全について、「ひなんの家」の設置を促進し、見守りの体制を強化します。</p> <p>放課後児童クラブや放課後子ども教室により、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域との交流活動の機会を提供するとともに、家庭、地域、学校等が連携し、全市的に「しらかわ運動」を推進することで青少年の健全育成に努めます。</p>
③	青少年の非行防止活動の充実	<p>青少年の事故や非行を未然に防ぐため、少年補導員や警察と連携を図りながら、街頭補導・指導活動を推進します。</p> <p>少年補導員の研修を実施し、補導員の資質向上に努めます。</p>
④	青少年活動の支援	<p>青少年が心の豊かさや生きる力を養うため、社会体験や自然体験などを通じた学習機会の充実を図ります。</p> <p>青少年育成市民会議の充実を図り、地区推進協議会の活動を支援します。</p>

【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み	主体	期待される波及効果
① 地域の祭りや環境美化活動などの行事に青少年の参加を促し、大人とのふれあいを通じて、社会規範意識の向上や他人を思いやる心の育成など、地域全体で青少年の健全育成に貢献します。	市民、団体	<p>主要な取組み：②、④</p> <p>成果指標：-</p>
② 「しらかわ運動」に参加します。	市民（家庭等）、事業者、団体	<p>主要な取組み：②</p> <p>成果指標：-</p>

【主な部門別計画】 (空白)

施策

4-3

生涯学習社会の実現

【めざすまちの姿】

市民が生涯にわたって、誰もがあらゆる機会やあらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことができる生涯学習社会が実現されています。

【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①出前講座の利用件数	件	23	40	増加を目指す
②公民館の利用者数	人	57,093	75,000	増加を目指す
③市民一人当たりの図書貸出冊数	冊	4.9	8.5	増加を目指す
④市民共学バイキング講座数	講座	10	20	増加を目指す

【現状と課題】

- 近年、生涯学習による生きがいや健康づくり、地域づくりを実践していこうという意識が高まる中で、公民館でのクラブ活動や各種教室の開催、福島大学サテライト教室の開催、図書館の利用等により、市民は生涯学習に取り組んでいます。
- 生涯学習を推進していく上では、市民は学習機会の提供を受けるだけでなく、自らが積極的に学び、学習成果を地域に還元する中で自己実現を図ることが重要となっています。
- 今後も市民の自発的な生涯学習活動を促すとともに、市民自らが積極的に生涯学習活動を企画運営していく機会の充実や仕組みづくりが求められています。
- 公民館や図書館の社会教育施設は、市民の生涯学習の機会や場を提供する生涯学習の拠点及び身近な地域の交流の場として重要な役割を担っています。
- 施設の運営にあたっては、社会の変化に対応した取組みが求められるとともに、施設の老朽化に対しては計画的な改修・修繕を実施するなど、利用者のニーズに応える施設の充実が必要です。

【主要な取組み】

取組み		内容
①	生涯学習推進体制の充実	<p>市民の声を反映し、学習効果の高い講座や教室とするために、市民自らが事業を企画運営できる体制の充実に努めます。</p> <p>自主的なサークル活動やボランティア活動を促進するため、出前講座や市民共学バイキング講座を活用した支援を行うとともに、学習発表の機会の充実に努めます。</p> <p>生涯学習へのきっかけづくりや継続的な学習活動に対し、気軽に相談できる相談窓口の整備を図るとともに、市民で構成された白河市生涯学習推進会議の有効活用を図ります。</p>
②	生涯学習機会の提供	<p>公民館での各種教室や福島大学サテライト教室等の充実に努めます。</p> <p>広報紙やホームページ等を活用し、年間で開催される生涯学習関連の講座等のスケジュールなど生涯学習に関する情報の提供に努めます。</p> <p>市民の様々な学習ニーズに対応できるよう、専門知識を有したボランティア講師の育成を図ります。</p>
③	生涯学習拠点の充実	<p>老朽化している社会教育施設については、計画的な改修・修繕を行い、市民が安心して学習できる環境をつくります。</p> <p>図書館においては、図書資料の整備充実に努め、気軽に楽しく本とふれあえる環境を整え利用促進を図るとともに、ボランティア団体等と連携して子どもの読書活動の活発化を図ります。</p>

【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み	主体	期待される波及効果
① 公民館や図書館における学習活動などへの参加を通じて、学び合う仲間の輪を広げます。	市民、団体	主要な取組み：① 成果指標：②
② 積極的に学習活動を行い、学びを通じて自己実現を目指し、その学んだ成果を地域づくりに活かします。	市民、団体	主要な取組み：① 成果指標：-
③ 市民共学バイキング講座の運営に協力します。	市民、団体	主要な取組み：① 成果指標：④

【主な部門別計画】 白河市生涯学習推進計画
子ども読書活動推進計画

施策

4-4

スポーツ・文化の振興

【めざすまちの姿】

市民の多様なニーズに対応できる、スポーツ指導者が育成されるとともに、スポーツ施設の整備・充実が図られることで、市民の誰もがスポーツを身近に楽しむ環境が整っています。

また、市民の文化活動が活発化し、子どもから大人まで市内で多くの文化・芸術にふれることができる環境が整備され、個性豊かな文化が創造されています。

【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①1週間に1回以上スポーツに取り組んでいる市民の割合	%	6.8	10.0	増加を目指す
②総合型地域スポーツクラブの設置数	クラブ	9	10	増加を目指す
③スポーツ施設の延べ利用者数	人/年	450,527	630,000	増加を目指す
④文化施設への来館者数	人/年	140,777	397,700	増加を目指す

【現状と課題】

- 本市の陸上競技・自転車競技、合唱などのスポーツ・文化活動は、高い成績を収めるとともに、本市の知名度向上に貢献してきました。また、スポーツ・文化活動は、人や地域に交流機会を提供するとともに、一体感や連帯感の醸成につながり、市民の心を元気にする効果が期待されます。
- 市民一人ひとりが生涯にわたってスポーツ活動に親しめるよう、各種スポーツ教室、市民総合体育大会、スポーツフェスティバル等を開催するなど参加機会の充実や、スポーツクラブや各種競技団体への支援が重要です。
- 高齢化の進行に伴い、さらなる市民の健康の保持増進を図るため、だれもが継続的に参加しやすいスポーツ活動の促進が求められています。
- 多様化するスポーツニーズに対応できるよう、自発的なスポーツ活動ができるスポーツクラブや団体を育成するとともに、専門性の高い指導者の育成が必要となっています。
- 市民の文化・芸術活動における創作の拡充を図るため、多彩な行事を開催することで市民に優れた文化・芸術を鑑賞する機会を提供することが求められています。
- 文化活動の担い手である文化団体の後継者の確保及び育成に対する支援が求められています。
- 市民の芸術文化活動や交流活動の拠点として、新たに市民文化会館の建設・その他の文化施設の定期的な改修・修繕が必要です。
- 劇場、音楽堂等の活性化に関する法律が施行され、ホール等の文化施設を設置又は運営する者は、地域の文化芸術の水準向上に積極的な役割を果たすよう事業を自主的かつ主体的に行うことが明記されています。

【主要な取組み】

取組み		内容
①	生涯スポーツ推進体制の充実	誰もが年齢や体力に応じて気軽にスポーツ活動に参加できるよう、スポーツイベントや各種スポーツ教室の充実に努めます。 市民が主体的にスポーツ・レクリエーションに取り組める体制や環境づくりの充実に努めます。 スポーツを通じて地域コミュニティの活性化を図るとともに、総合型地域スポーツクラブの育成・支援に努めます。
②	スポーツ指導者・団体の育成	スポーツ推進員等の指導者育成を図るため、実技講習会などを開催し、専門的な知識・技術の習得を推進します。 スポーツ少年団や各種スポーツ競技団体への必要な支援に努めます。
③	スポーツ施設の充実	各地域のスポーツ施設・設備の適切な維持管理と充実に努めるとともに、その有効活用を促進します。 学校体育施設を開放し、地域住民のスポーツ活動の振興を図ります。
④	文化・芸術活動の推進	文化団体などの連合体の形成及びその運営を支援し、市民の多様な文化活動や創作活動を推進します。 子どもたちを中心に芸術文化の鑑賞機会、体験機会の充実に努めるとともに、企業や民間団体と連携しながら、市民の芸術文化に親しむ機会の提供を図ります。
⑤	文化・芸術団体への支援と人材育成	市民が地域の文化振興の担い手として、自主的な文化・芸術活動を推進するため、団体の育成を目的とした必要な支援を推進するとともに、専門的な知識・技能を有する指導者やボランティアの発掘・育成に努めます。
⑥	文化交流拠点の整備・充実	文化・芸術に親しむことができる文化交流拠点として、市民文化会館を整備します。 既存の文化施設の計画的な改修・修繕に努めるとともに、施設の効率的な運営を行います。

【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み		主体	期待される波及効果
①	自主的・自発的にスポーツ活動に取り組むとともに、仲間づくりに努めます。	市民、団体	主要な取組み：① 成果指標：①、②
②	市民主体によるスポーツ活動団体の組織化や継続的な運営に努めます。	市民、団体	主要な取組み：② 成果指標：①、②
③	文化・芸術活動に興味を持ち、積極的に文化・芸術活動へ参加するとともに、学習資源として利活用します。	市民、団体、企業	主要な取組み：④ 成果指標：④

【主な部門別計画】 白河市スポーツ振興計画

施策

4-5

歴史や伝統文化の保存と継承

【めざすまちの姿】

歴史・伝統文化が次世代に受け継がれることで、地域に対する理解が深まるとともに、地域の連帯感が醸成され、白河市独自の歴史・伝統文化が生きたまちづくりが行われています。

【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①資料館・集古苑の入館者数	人	10,000	15,000	増加を目指す
②民俗芸能・伝統行事記録保存件数	件	5	15	増加を目指す
③文化財の指定件数	件	133	140	増加を目指す

【現状と課題】

- 本市には、歴史や風土の中で育まれてきた様々な文化財が数多く残されています。特に、白河関跡、小峰城跡、南湖公園に代表される史跡や名勝などの文化財や、関辺のさんじもさ踊、奥州白河歌念仏踊などの伝統芸能など、地域に息づくさまざまな歴史や伝統文化が残されており、まちに品格と魅力を与えています。
- さまざまな文化財を良好な状態で後世に伝えていくため、市民と協働で保全活動と調査活動を並行して行い、必要に応じて文化財指定等の保護措置を図るとともに、指定文化財の活用を検討する必要があります。また、被災した小峰城跡については、早期の修復を図る必要があります。
- 民俗芸能・伝統行事については、伝承する担い手の高齢化が課題となっており、後継者の育成が求められています。それらの保存・育成を図るとともに映像等による記録化を進める必要があります。
- 市民が白河市に誇りや愛着を感じられるよう、先人の守り伝えてきた郷土の歴史と伝統文化を学び、それを次世代に伝承・発展されていくことが重要です。
- 歴史民俗資料館、集古苑、地域の資料館は、市内外に残された白河市ゆかりの歴史資料などを収集・整理・保存し、それらを生かした展示や普及活動を行うとともに、市外からの観光拠点としての役割も担っています。

【主要な取組み】

取組み		内容
①	郷土の歴史や伝統文化の保護・継承	文化財の指定によって、文化財の保護を支援する体制を整え、計画的な保護・保全・管理に努めるとともに、市内の文化財の適切な活用を図ります。 民俗芸能・伝統行事の保護活動の記録化を継続して実施するとともに、文化財の継続的な行事実施に向け、後継者育成に努めます。
②	文化・芸術・歴史の公開・普及	白河の歴史をよく示す資料や歴史を明らかにするうえで不可欠な文化・芸術・歴史資料を収集するとともに、収集資料の調査・研究、各地の資料調査を進め、白河の歴史・文化理解の促進のため、歴史民俗資料館や集古苑において、様々な企画展等を計画的に開催します。 文化・芸術・歴史資料について、観光とタイアップして関連する資料を活用することで白河の魅力を幅広く発信します。
③	埋蔵文化財の保護	被災した小峰城跡の修復と指定地拡大や、白川城跡の国史跡指定を目指した調査を進め、埋蔵文化財の保護を図ります。 今後新たな史跡指定の可能性のある重要遺跡について、将来を見据えた計画的な発掘調査を継続的に進めます。

【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み		主体	期待される波及効果
①	市内各地域の歴史や伝統文化に対する関心を高め、郷土に対する愛着と誇りを持って、地域ぐるみで文化財の管理に取り組みます。	市民、町内会等管理団体	主要な取組み：① 成果指標：③

【主な部門別計画】 (空白)